

心光寺の最近の動き

(令和七年七月二十九日発行)

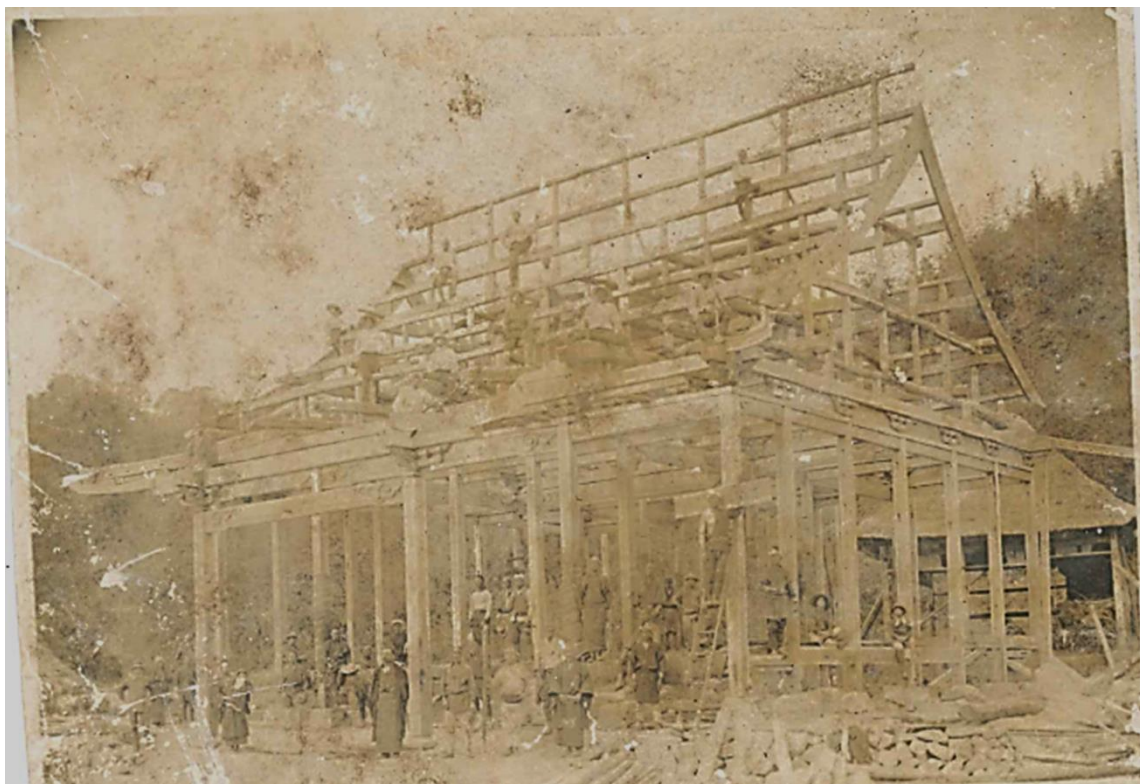
心光寺移転記念法要をお勤めしました

去る七月六日に、「心光寺移転記念法要」をお勤めしました。

「心光寺移転記念法要」は、今から一三六年前(明治二十二年)七月初旬、当時鮎川にあった心光寺本堂が、折からの豪雨により裏山の崖が崩壊し、それに巻き込まれて被災しました。幸い庫裡は難を逃れたので、解体して現在の下津々良の地に移築しました。その後心光寺は、本堂がない状態のまま、庫裡を本堂代りにして三十四年間推移しました。その間、本堂再建は心光寺門徒の悲願でした。そして今から一〇二年前(大正十二年)に、御門徒の総力を挙げて現在の本堂を建立しました。

そこには、皆さん方のご先祖である心光寺御門徒の大変なご苦勞の歴史があったわけです。ご先祖は、厳しい生活の中からなぜそれ程のご苦勞をして本堂を再建されたのか。そこには、人間として生まれてきた意味を親鸞聖人の教えによって確かめずにはおられないという深い願いが、意識するとしなにかかわらず働いていたと思われれます。ご先祖のそういうご苦勞の歴史を振り返りつつ、その願いを尋ねるために、毎年この時期に移転記念法要を開催しています。

法要は、勤行の後、当時の写真等をスライドで見て、移転のご苦勞の歴史を振り返りました。その後、それを受けて住職より法話がありました。その後お茶を飲みながら出席者の間で自由に座談をいたしました。



心光寺本堂建築中の当時の写真。現在は本堂の裏に JR の鉄道が通っているが、この写真を見ると裏に小屋があり、当時はまだ鉄道が通っていなかったと思われる。

女性門徒の会総会を開催しました

「移転記念法要」の後「女性門徒の会総会」を開催しました。前年度（令和六年七月～令和七年六月）活動報告、決算報告の後、今年度（令和七年七月～令和八年六月）の予算案並びに行事計画案について話し合いました。

新年度の新しい行事として、十月に宇佐市にある東本願寺四日市別院の一日奉仕研修を計画しようということになりました。詳しいことは九月にご案内しますが、大体の案としては、マイクロバスで午前九時心光寺出発↓十時三十分開会式↓十一時より清掃奉仕（一時間）↓昼食↓法話（四十五分）↓四日市門前町散策（一時間）↓午後三時閉会式↓帰路、となります。参加者は女性門徒に限定せず、男性門徒も参加できるものとしたということになりました。どうぞご期待くださいませ。

同朋の会推進員講座募集（予告）

「同朋の会推進員講座」とは、真宗大谷派が宗門の大事な事業として、ご門徒の皆さんを対象に、昭和六十三年（1988年）に始めた聞法の講座で、三十七年間の歴史を持っています。ご門徒の皆さんが、所属の寺だけでなく他の寺のご門徒と交流しながら、親鸞聖人の教えを通して、人間に生まれた意味や、病氣や死や苦悩を抱えた人生を生きる意味などを共に学び合う人を養成する講座です。

「同朋の会推進員講座」は、真宗大谷派の各組のブロックごとに行われています。心光寺が所属する大分別府組では、来年二月に三回の前期教習を実施し、その後四月十五日～十七日に東本願寺の同朋会館で後期

教習を受けます。前期・後期の教習を修了しますと、宗務総長から同朋の会推進員としての認定証が交付され、正式に同朋の会推進員となります。その後は、大分別府組の先輩推進員たちで構成されている推進員連絡協議会に所属し、協議会が年数回実施している聞法会に出席し、生涯聞法を続けていきます。

心光寺では、以前河野ムツエさんや麻生ちどりさんが推進員となっていました。お二人とも故人となられましたので、現在推進員は一人もいません。それで皆さん方には是非推進員講座を受講していただき、新たに推進員となっていただきたいと思っています。12月頃募集したいと思っていますので、どうぞその心づもりをしておいていただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

お盆のお参りについて

今年もお盆が近づきました。八月十日頃からお盆のお参りを始めたいと思っています。心光寺近辺外の御門徒さん方については、盆前に事前に電話でご連絡した上でお参りしたいと思っています。また心光寺近辺の御門徒さん方については、十三日から戸別順番にお参りしたいと思っています。もしご希望の日時がある場合や、又お参りを希望されない場合は、ご遠慮なく心光寺までご連絡くださいませ。

（心光寺 0977-84-4441 住職携帯 080-9244-9729）